

校長研修だより59

全国普通科高等学校長会

2022・5・25 重枝 一郎

主に先月（4月）に行われた、文部科学省主管の「文部科学大臣会見」「未来創造会議」「教育データの利活用に関する有識者会議」「学校教育情報化推進専門家会議」「GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議」から太字の部分抜粋。（以下◆参照。ちょっとバラバラになるが・・・）

- ◆すべての新規採用教員が10年目までに特別支援学級・学校を複数年経験する。
- ◆「論理国語」は実社会において必要となる。論理的に書いたり、批判的に読んだりする力の育成。「文学国語」は深く共感したり、豊かに想像したりして書いたり読んだりする力の育成。
- ◆「教育職員等による児童生徒性暴力等防止等に関する法律」施行。免許状失効者に関するデータベースの構築。
- ◆改正民法の施行で、成人年齢を18歳にしたということは、自分と社会の関わり合いを深く考えさせるということ。消費者教育、主権者教育。
- ◆「（改訂）新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のためのガイドライン」を周知。スクールカウンセラー等の配置充実。
- ◆「生徒指導提要」の改訂作業中。校則は地域の状況、時代の変化等を踏まえて不断の見直しが必要。校則見直しのプロセスを明確にする配慮の必要性。
- ◆「衛生管理マニュアル」では感染対策を行ってれば、給食時にマスクをせずに会話したことだけで一律に出席停止の措置を求めることにはならない。
- ◆「教育未来創造会議」では文理横断教育を推進することについて検討中。
- ◆GIGAスクール構想の中で、令和6年度にデジタル教科書を本格的な導入をする最初の契機として捉えていく。
- ◆今後の部活動の在り方は、全国各地において地域移行に係る実践研究中。
- ◆「教育データの利活用に関する有識者会議」において、一部自治体・学校等で行われている学級集団の理解に向けた取組で、民間事業者が提供しているQ-U（QUESTIONNAIRE—UTILITIES）の事例報告。

※ちなみにこの「Q-Uアンケート」は本年度本校J2、J3において実施予定

- ◆「学校教育情報化に係る最近の動向」において、義務教育段階における一人1台端末の整備状況は全自治体の98.5%が令和3年度に完了。福岡県の公立高校では現在約50%で令和4年度内に100%を目指す。
- ◆本年度より「情報I」が新設されることを踏まえ、高等学校情報化担当教員の確保と質の向上。

大変雑な抜粋だが、全国普通科高等学校長会の情報共有資料から抜粋した。正確な内容は、文部科学省・関係機関のホームページで全文読める。

私たちは、教科の枠をこえて、様々な教育に関する事案に取り組むことになる。教師一人一人の知恵・行動の総和が、すべての教育活動を支えていく。

頭ではわかっていたが、どうやら私たちは永遠の発展途上人でなければならない。